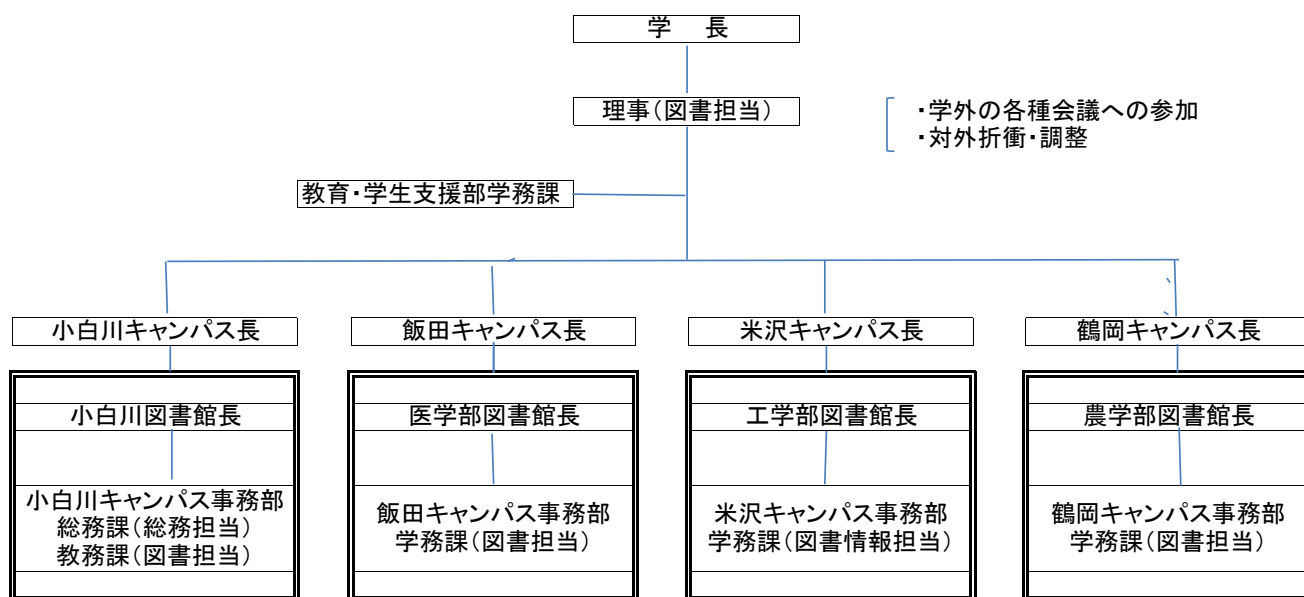


1. 沿革

昭和	24年	5月	山形大学創設 附属図書館設置(旧山形高等学校図書館を中央図書館とし、旧山形師範学校・旧山形青年師範学校の図書館を教育学部分館、旧米沢工業専門学校・旧山形県立農林専門学校の各図書館を、それぞれ工学部分館及び農学部分館として、新機構のもとに発足)
	28年	1月	中央図書館新築第1期工事完成。閲覧室、ホール、目録室、事務室等落成
	30年	2月	事務機構の改革。庶務・司書の2係から管理・目録・閲覧の3係に改組
	33年	1月	中央図書館新築第2期工事完成。学生閲覧室の落成
	38年	4月	教育学部の統合移転に伴い、教育学部分館を中央図書館へ統合
	39年	3月	工学部分館竣工
	40年	3月	新中央図書館を新築し、北書庫部分竣工
	46年	2月	中央図書館2・3階部分を増築(第1回)
	47年	12月	農学部分館竣工
	53年	4月	医学部分館を設置
	54年	2月	中央図書館南書庫、開架閲覧室南側部分を増築(第2回)
平成	4年	4月	事務組織を事務長制から事務部長制に変更
		6月	中条家文書(233通)が重要文化財に指定される
	5年	2月	図書館協議会に自己評価委員会を設置
	6年	2月	「山形大学附属図書館自己評価報告書」を発表
	7年	1月	中央図書館の増改築工事竣工
	9年	9月	中央図書館にセルフコピー機を設置
	10年	4月	学外者利用の開始
		10月	中央図書館に衛星放送受信装置設置(CNNニュース放映開始)(平成20年度終了) オープンギャラリー開設
	11年	2月	人文・社会科学系特別図書選定委員会を設置
		4月	医学部分館にセルフコピー機を設置
	12年	1月	工学部分館の増改築工事竣工(第2回)
	13年	12月	工学部分館にオープンギャラリー開設
	14年	3月	工学部分館学外者の利用を未成年者に拡大
	15年	3月	農学部分館増改築工事竣工
			「山形大学附属図書館自己点検評価報告書」を刊行
		11月	「図書館利用サービスアンケート調査」を実施
	16年	4月	附属図書館中期目標・中期計画の開始(平成21年度まで)
		8月	山形大学1学部・部門プロジェクトに「紅花の歴史文化と地域学術資料のデータベース化及び情報発信」プロジェクト(通称「紅花プロジェクト」)を附属博物館と共同で申請・採択(平成18年3月まで)
	17年	10月	和算資料212点の寄贈を受け「鈴木文庫」として公開
	18年	7月	事務組織を学術情報部(学術情報ユニット・情報サービスユニット・情報企画ユニット)に改組
		8月	国立情報学研究所(NII)の次世代学術コンテンツ基盤共同事業(CSI)に参加
		11月	「大学コンソーシアムやまがた」に学術情報部会を立ち上げる(平成21年度まで)
	19年	5月	「文殊菩薩騎獅像」(山形市指定文化財)と古文書約850点を「宝光院文書」として受贈。 「文殊菩薩騎獅像」の修復を実施
		9月	「紅花プロジェクト」が東北地区大学図書館協議会学術奨励賞を受賞
	20年	7月	事務組織の学術情報部を廃止し、企画部図書情報企画ユニット・小白川事務部小白川図書ユニット・各学部事務ユニットに改組
	21年	7月	附属図書館を廃止し、小白川図書館・医学部図書館・工学部図書館・農学部図書館に改組
	22年	4月	山形大学基本組織規則に「4館を総称して「附属図書館」と称する」旨規定。山形大学図書館規程を制定。企画部図書情報ユニットが廃止され、企画部社会連携・図書・情報ユニットに改組
	23年	4月	企画部社会連携・図書・情報ユニットが廃止され、渉外部社会連携・図書・情報課に改組
	24年	4月	渉外部社会連携・図書・情報課が廃止され、渉外部渉外課に改組
	26年	4月	渉外部渉外課が廃止され、教育・学生支援部学務課に改組
	30年	9月	小白川図書館事務組織の図書課が廃止され、総務課と教務課に改組

2. 組織機構図



***国立大学法人山形大学及び山形大学基本組織規則
(図書館)**

第32条 本学に次の図書館を置き、4館を総称して「附属図書館」という。

- (1) 小白川図書館
- (2) 医学部図書館
- (3) 工学部図書館
- (4) 農学部図書館

職員数(令和元年5月1日現在)

	職員数		
	専任	短時間勤務	合計
小白川図書館			
小白川キャンパス事務部総務課 総務担当	2	1	3
小白川キャンパス事務部教務課 図書担当	2	6	8
(小白川図書館計)	4	7	11
医学部図書館	2	4	6
工学部図書館	2	2	4
農学部図書館	2	1	3
(図書館計)	10	14	24